

まち風景ナビ「武甲山御嶽神社 里宮太々御神楽 (1596年～奉養)」



議会ナビ「小中学校ブロック塀を視察 (写真は中学校裏門)」



よこぜ

No.120

議会ナビ



よこぜ議会ナビは
横瀬町議会が皆さんに
年4回お届けする議会発行の
広報紙。議会審議の経過や議員の活動を
解説とともにわかりやすくお伝えしていきます。

えがおナビ「いつまでもお元気で!! 横瀬町敬老会」



クイズ de よこぜ「これがあるのはどこでしょう?」こたえは裏表紙



議会のことを
コンパクトにお知らせ

2018年
平成30年秋号(9月定例会)

P.2

町のお金の使い方を
チェック
平成29年度決算を認定

P.4

審議した議案とその結果
補正予算質疑をピックアップ

P.5~

7名の議員が登壇
町の考えを問う[一般質問]

町のお金の 使い方をチェック

平成29年度 一般会計

入ったお金 (歳入)		
自主財源 46.8%	町 税	11億6760万7983円
	繰 越 金	1億7038万9810円
	繰 入 金	1億 287万7812円
	そ の 他	1億6781万2623円
依存財源 53.2%	地方交付税	9億9745万1000円
	国庫支出金	2億7069万9484円
	県 支 出 金	1億5530万7432円
	町 債	2億1586万1000円
	そ の 他	1億8747万6000円
合 計		34億3548万3144円

使ったお金 (歳出)	
民 生 費	9億 958万9345円
総 務 費	6億3604万8476円
土 木 費	4億 258万7919円
教 育 費	3億8644万3018円
公 債 費	2億9292万2624円
衛 生 費	2億2554万7713円
消 防 費	1億9438万7056円
農林水産業費	7882万8974円
議 会 費	6324万4400円
商 工 費	5045万6842円
合 計	32億4005万6367円

平成29年度 決算 に関して議員はココを聞きました (抜粋)

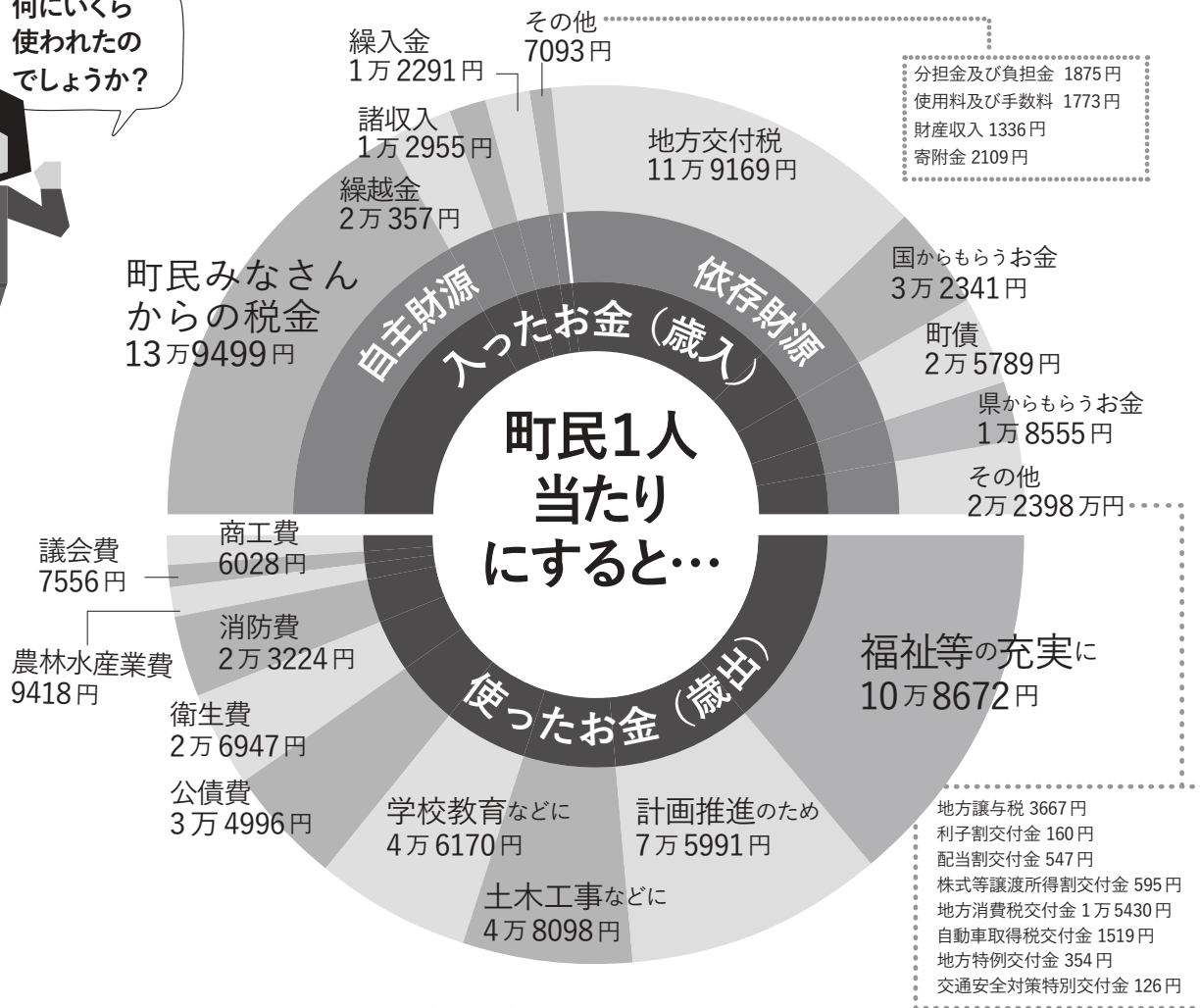
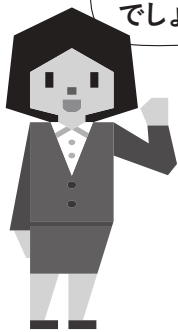
- 問** 受け入れた738万円のふるさと納税への町のコストは、返礼品の報償費が238万円です。
- 答** 町民による他市町村への寄附金による影響は、他市町村への寄附金は945万円ですが、交付税措置等により実質的な税収の減収額は102万円です。
- 問** 創業資金借入利子補給制度は商工会議所もしている。実績2件で4万4000円なので、申請する手間、受け付ける町職員の手間を考えるとやめたかどうか。
- 答** 町として中小企業支援を行う姿勢を示す意味があります。
- 問** 不用額について使う必要がなかった場合と、執行できずサービスが低下した場合とあるが、予算は単年度で執行・還元し、地域経済を回すのが基本と考えるが、町はどうか。
- 答** 不用額は適正であると考えています。要因として「節約できた」「やらなかった」があり、「やらなかった」を極小化するように努めています。貯蓄をして将来に備えるのも大切な住民サービスの一つです。

- 問** 安全運転を徹底し、事故の減少に鋭意努めています。
- 問** 地域パワーアップ助成事業補助金の利用率が上がらないが取り組みは、今後さらにPRを進めて、利用を増やしていけたらと思っています。
- 答** 第二校舎設計委託において、小学校改修工事設計委託料をどのように支払ったのか。
- 答** 第一校舎設計委託は、6月27日に77万6000円で契約。南側廊下増築は11月20日に269万9000円の増額変更を行いました。最終的に実績分を考慮し、減額変更で3割程度減額して、729万9000円支払いました。

ふるさと納税返礼品 (一例)



何にいくら使われたのでしょうか？



※平成30年9月1日現在の人口(8,370人)で計算しています。

※円未満は四捨五入の計算方法で記載しているため、合計額が一致しない場合があります。

討論

決算に賛成です

黒澤克久議員

平成29年度の決算状況を見ますと、一般会計においては歳入歳出とも前年度決算額を下回り、限られた財源の中で適切な活用があったと思われます。特別会計

においては、各会計ともに、町民の皆様のご協力とご理解をいただきながら、安定した成果を感じられます。

以上のことから、厳しい財源の中、各会計とも良好に運営が執行されていると確信し、決算認定に賛成をします。



今日も1日「安全運転」で

問 自動車修繕費183万円の中身は。

答 公用車が32台で、人身事故はありませんでしたが8件の物損事故がありました。事故報告書は提出させています。

問 法定外繰入金を戻した理由と今後の考え方は。

答 給付の不足分等のため、法定外繰入を行ってきました。収納率の向上や交付金の増額等により単年度収支が黒字となりました。制度改革後、収支の動向を見ながら考えていきます。

問 発生汚泥の量、処理の委託先、放射能汚染の測定は。

答 発生汚泥は272m³で、週1回4m³の搬出。委託先は三菱マテリアルです。放射能測定は2011年5月以降、ヨウ素とセシウム(137:134:136)を毎月測定していますが、基準値以下となっています。

平成30年9月定例会〔審議した議案と結果〕

賛成…○ 反対…×
欠席…欠

注) ※印は議長（議事進行を行う議長は賛否の表明はしません。賛否同数の場合のみ議長裁決として賛否表明し、その場合は「裁」と記載します）		審議結果	向井芳文	黒澤克久	阿左美健司	宮原みさ子	浅見裕彦	新井鼓次郎	内藤純夫	大野伸恵	若林想一郎	関根修	小泉初男	若林清平
町長提出議案														
報告	横瀬町の健全化判断比率及び横瀬町の公営企業における資金不足比率について	了承	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
一部改正	横瀬町議会の議決すべき事件に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	横瀬町職員の分限の手續及び効果に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	横瀬町重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
平成29年度決算	横瀬町一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	横瀬町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	横瀬町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	横瀬町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	横瀬町下水道特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	横瀬町浄化槽設置管理事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	横瀬町一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
平成30年度補正予算	横瀬町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	横瀬町介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	横瀬町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	横瀬町下水道特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	横瀬町浄化槽設置管理事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	横瀬町一般会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
人事	人権擁護委員候補者の推薦について（村越和昭さん）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	人権擁護委員候補者の推薦について（浅見きよみさん）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	横瀬町教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
請願	横瀬町における受動喫煙防止対策に関する請願	委員会付託	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○
	東海第二原子力発電所の運転延長を行わないことを求める請願	委員会付託	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○

平成30年度補正予算を可決 質疑をピックアップ



確かに古い……（町営住宅）

- 問** 7月豪雨見舞金など、寄附金額の基準はあるのか。
- 答** 県の町村会のベースでの基準で行っています。
- 問** 学校教育ICTの環境整備は、どのように進めていくのか。また、ネット依存に対する対策は。
- 答** 3年程度かけて策定業務を検討します。ネット依存に対しては、年1回警察からの指導を行っています。中学校では、試験期間はアウトメディアを実施しています。
- 問** 旧芦ヶ久保小の浄化槽設置工事で排水の問題は解決するのか。
- 答** 解決すべき対応をできるよう行っています。
- 問** 町営住宅の住宅管理費移転料の内訳は。引っ越し費用と移転先の取得費用、民間住宅との家賃差額分です。
- 問** 産地パワーアップ事業費補助金の申請内容は。
- 答** 観光農園のブドウ棚に屋根を設置する費用の補助金です。
- 問** 浄化槽設置負担金の減額理由は。
- 答** 7人槽より5人槽の設置が多かったためです。



7名が町に問う 一般質問

一般質問とは、議員が政策提言も含めて町政全般について質問するものです。この議会日よりでは、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。



おおの のぶ へ
大野伸恵議員が聞く！

行政運営の継続を

- 問** 就任以来、人口減少問題等に真摯に取り組まれ、持続可能な町への一歩である「出生数」も維持された。行政の継続を望むが、2期目に向けて、町長選立候補の表明は。
- 答** 町長 引き続き町民の皆さんとともに、大きな変化の時代に積極的に臨み、住みよい町にしたいと思っています。謙虚に、誠実に、大胆に町政に当たらせていただきたい。
- 問** 小学校建設に向けて、町長の基本理念は。
- 答** 町長 「小学生ファースト」で考えます。第一校舎は、使い方を別としても町のシンボルとして残したいと思っています。木造または木質化を基本とし、住民の意見を聞き、町の英知と総力を挙げ、臨みたいと考えています。
- 問** 横瀬町森林計画を踏まえ、森林の適切な管理は。
- 答** 振興課長 町としても十分に整備されている状態ではないと認識しており、国の制度改正に対応するためにも、職員体制の見直しが必要と考えます。

みや はら こ
宮原みさ子議員が聞く！

安心、安全な町の取り組みは？



- 問** 学校での心肺蘇生教育とAEDに関する児童生徒、教職員に対する実施状況と具体的な取り組みと今後の方向は。
- 答** 教育長 小・中学校とも学校保健安全法に基づく「防災マニュアル」を作成し、危険予測に対応できるよう努めています。中学校では、毎年各部からリーダーを中心に心肺蘇生法、AED使用法の講習を実施しています。
- 教職員全員に対する講習も1学期中に毎年実施しており、今後も児童生徒の命を守るため、万一に対応できるようにも心肺蘇生法、AED使用法の講習会を継続していきます。
- 問** 不育症の周知や患者支援の推進について、町としての取り組みは。
- 答** 子育て支援課長 町では、平成28年度から不妊・不育治療費助成事業を行っています。また今年度からは、不妊症検査・不育症検査費助成事業を実施し、経済的支援を行っています。
- 今後も周知啓発に努め、必要とする方が気兼ねなく相談できる体制にしていきたいと思っています。

あさ み やす ひ こ
浅見裕彦議員が聞く！

住民のいのちと生活を守る取り組みを



- 問** 自然災害時の防災行政無線や防災メールの発信時期は。
- 答** 総務課長 県や気象庁等の情報をもとに、必要に応じて防災無線等で避難勧告等を行います。
- 問** 特に危険と重点を置く箇所はどこか。また河川増水時、浸水のおそれのある和田河原地区の危険水位をどのように設定し、避難勧告を出すのか。
- 答** 総務課長 土砂災害警戒区域等を重点箇所と考えています。横瀬川は県管理の一級河川なので、情報共有を図りながら雨量情報をもとに判断します。
- 問** 林業振興における人材と担い手の育成をどう図るか。
- 答** 振興課長 すぐの人材育成は難しいので、県の林業技術者研修事業を案内する考えです。
- 問** 森林管理道・二子線の今後は。
- 答** 町長 残りは3000メートル。どちらが町のためになるかを考慮すると、今すぐの再開判断は難しいと考えます。
- 問** 横瀬町でも、返済不要の給付型奨学金を導入しようとする考えがあるか。
- 答** 教育次長 目的、要件が重要であり、限られた予算の中での給付型奨学金の導入は難しいと思います。

でご覧いただけます。パソコンやスマートフォンなどからは、横瀬町議会ができます。ぜひ議場に足を運んでみてください。お待ちしております！

くろさわかつひさ

黒澤克久議員が聞く！



防災対応は、できてますか!?

防災政策

問 公会堂、集落センターへの補修補強の補助金の現状は。

答 まち経営課長 横瀬町には公会堂、集会施設の新築、増改築事業に関わる補助金の交付要綱がありますが、概要については昭和54年度に施行して以来、かなりの年数が経過しています。今後コミュニティづくりの面、耐震化を含めた防災対策の面、対象施設の補助金額など、検討する必要があります。

まちなか活性化事業について

問 まちなか活性化事業で目指している方向性は。

答 まち経営課長 アイデア収集ヒアリング、ワークショップを町民の皆様を対象に実施。課題や5年後10年後の横瀬町のあるべき姿について意見交換を行っています。

答 町長 まちなか活性化事業については、ふるさと財団の助成金がいただけるようになりました。目指している方向性では、キーワードで言うと「多様性がある」「世代を超える不変性持続性がある」、そういうまちづくりをしていきたいと思えます。

あさみけんじ

阿左美健司議員が聞く！



職員採用と業務量について

問 職員の業務量は適正か。

答 総務課長 住民ニーズの多様化などで業務量は増大。財政状況、人口減少を見据え、行政運営の効率化の必要性も認識しており、各課で事務の平準化の努力をしています。

問 採用人数が若干名と、幅があるが。

答 町長 応募しやすくするためです。無条件に採用するわけではありません。

問 仕事の効率アップに取り組めば、採用人数は抑えられるのでは。

答 町長 一人一人の仕事量は把握しています。合理化したいですが、なかなかその余地はありません。

問 新人職員がやっている受付業務より費用対効果のある住民サービスがあると思うが。

答 総務課長 費用対効果の順位は下がりますが、新人教育の一環として実施しています。

問 異動した職員のところは新人職員が行かない配慮は。

答 町長 人の組み合わせを考えて組み立てをしています。きめ細かい運営はしていると思えます。

わかばやしそういちろう

若林想一郎議員が聞く！



日本一の町づくりに向けて

町長のマニフェストの検証

問 掲げた目標や施策の進捗状況について町民の皆様にお知らせすることは、町長の責務だ。各施策の対応・成果・課題及び今後の見通しを問う。「日本一の町づくり」に向けて創り出せたもの、生み出したものはあるか。

答 町長 全体としてまずまずの進捗です。個別には課題もありますが、確かな手応えを感じています。人口減少対策については最優先課題であり、新たな課題設定をし、組織体制を整えました。

所有者不明の土地問題

問 所有者不明の土地について、国は有効活用に向け、新たな制度の導入を進めている。当町の今後の地籍調査事業の実施計画について問う。

また企業誘致など、地籍調査を先行させる計画はあるか。

答 建設課長 公共事業を進めるに当たって、所有者が確認できるものは約8割で、2割は追跡調査が必要な状況です。地籍調査は、平成31年度から実施予定です。



一般質問をはじめ本会議での発言全文は、図書館に置いてある会議録ホームページにアクセスしてください。また、本会議はどなたでも傍聴

むか い よしふみ

向井芳文議員が聞く！



万全な備えと(居)場所づくり

- 問** 町指定緊急避難場所から外れた公会堂を区指定の避難所とすることについて、耐震等の問題があるが、それを解決するための費用負担を町はどのように考えているか。
- 答** まち経営課長 県や国の補助金を活用したいところであり、対象になる補助金メニューはいくつかありますが、ハードルが高く難しい状況です。
- ただ、全ての補助金メニューを把握できているわけではないので、今後も探していきたいと思っています。
- 問** 就労支援・ひきこもり支援の現状と今後の展望は。
- 答** 健康づくり課長 ひきこもりは個々に応じた対応が必要であり、相談窓口である保健所と連携するとともに、心の健康相談や講演会も行っています。
- 今後も多面的な支援が必要であり、関係機関と連携を図るとともに家族を含めた支援の充実を行っていきたいと考えています。



総務文教厚生常任委員会

児童・生徒の安全に対する取り組み

今年は猛暑。そこで児童生徒の安全に対する取り組みを所管事務調査で行いました。教育委員会における①学校施設におけるブロック塀の状況、通学路の危険箇所 ②高温・熱中症への対応 ③見守り活動の対応状況の説明をいただき、質疑応答を行いました。

委員会終了後、小学校・中学校のブロック塀の視察を行いました。



産業建設常任委員会



衛生的な暮らしのカナメです！

8月27日に産業建設常任委員会を開きました。今回は町の下水道事業、浄化槽設置管理事業を審査しました。これらは私たちの衛生的な生活を維持するために欠かせない事業です。建設課より、今までの進捗、今後の計画の説明を受け、そのあと川東13区にある水質管理センターで、汚水がきれいに浄化される過程を視察しました。



意気込みを感じました

町田邦明さん



傍聴ナビ

9月定例会を傍聴した方から、感想をいただきました。

私が傍聴した日は、町長の2期目の出馬表明が予想されていたためか、報道陣を含め16名ほど詰めかけていました。議員はよく調査し質問し、担当課長は丁寧に、町長は全てを把握し熱く答弁されていました。町の計画、執行に対し議員によるチェック提案機能が働いていて双方で町をよくしていこうという意気込みと、健全なる議会運営がなされていると感じました。

秩父広域市町村圏組合議会



決算が同意されました

秩父広域市町村圏組合議会は、7月11日に全員協議会、7月24日に第2回定例会が開催されました。全員協議会では、橋立浄水場の進捗状況等が報告され、第2回定例会では、議案第12号「平成29年度の水道事業利益処分及び決算について」及び議案第13号、議案第14号、議案第15号が審議され、それぞれ可決・同意されました。



表紙“クイズ de よこぜ”

こたえは

「花咲山公園」です

町民グラウンド駐車場先にある小高い山で、地域の憩いの場所となるよう、ボランティアの方々によって整備が進められています。公園内には、武蔵野美術大学とのコラボによるアート作品もあります。ぜひ足を運んでみてください。



ここから見る夕陽はきれいです♪

編集を終えて

平成最後の暑い夏はいかがだったでしょうか。今年は関東大震災から95年です。「災害は忘れた頃にやってくる」と言われますが、最近は次から次に来ていますので、今回の議会でも、災害対応への質疑が多かったと感じました。また、29年度決算についてもさまざまな議論がありました。わかりやすく伝えたいつもりですが、どうだったでしょうか。感想などいただけるとうれしいです。最後までご覧いただき、ありがとうございます。(K・A)



よこぜ議会ナビ

2018年
平成30年秋号(9月定例会)

発行：埼玉県横瀬町議会

〒368-0072

埼玉県秩父郡横瀬町大字横瀬 4545 番地

tel.0494-25-0119 fax.0494-23-9349

発行責任者：議長 小泉初男

編集：議会だより編集委員会

委員長／向井芳文 副委員長／阿左美健司
委員／大野伸恵・浅見裕彦・宮原みさ子

No.120

東奔西走



議会行政視察 (10月10日・11名参加)

〔群馬県甘楽町〕

国指定名勝の楽山園と小幡地区の古い町並み

景観整備とともに観光トイレにも力を入れているとのこと、来訪者受け入れの姿勢について参考となりました。



国指定名勝 楽山園

〔埼玉県滑川町〕

給食費無償化・土地地区画整備及びデマンド交通について

人口減少が社会問題になる中で人口が増加している町です。子育て支援として、給食無償化を実施。また、町内の2駅周辺の市街地整備などの結果によるものでした。各事業それぞれ創意工夫されており、示唆に富む研修となりました。



武甲山の町造林を視察



毎年恒例「おいしい給食」試食会



次の定例会は

12月上旬 開会予定

条例や補正予算を中心に審議します。
傍聴、お待ちしております！

詳細は議会ホームページをご覧ください
議会事務局 TEL 25-0119 にお問合せください